

成田山詣行脚 50回記念



成田山新勝寺で記念撮影



津田沼校舎で開会式後、さあ出発



まだ明るい市街地を抜けて……

瀬戸熊理事長の話

今回の成田山詣行脚は第50回という節目であると同時に、私にとっては惑星探査研究センターの「メテオ」カメラ打ち上げ成功のお礼という意味もありました。2回の口ケット爆発の後、1次は必ず成功させてください」と成田山に願かけしたからです。

65歳を記念した6年前に続いて2回目の参加。出発してから途中休憩を挟んで計9時間半。この間約5万6000歩に。30歩を過ぎたところで「成田山で学生諸君を迎えよう」とスピーチを上げ、少々膝の痛みを感じたものの、無事にゴールイン。

学生諸君にとっても、励まし合い、助け合って完歩した経験は、これからの人生で必ず役に立つでしょう。また、小宮学長をはじめ80人以上の教職員が参加してくださったことも、皆で手を携えて頑張っていること、誓いを新たに、今後の千葉工大を支える大きなパワーになると思います。

行脚をバックアップしてくださった同窓会成田支部の皆さんに厚くお礼を申し上げます。

OPEN CAMPUS
7.17 SUN
10:00-17:00

開催予定イベント

- 全園見せます。千葉工大!
- AO入試説明会
- 入試ガイダンス
- 学部学科全体説明会
- 学科説明会・学び体験
- 進学相談会・個別相談会
- 進学先についてみよう
- チバチカコメの部屋 (チバチカコメ体験コーナー)
- 保護者のためのセミナー
- キャンパスツアー
- 1・2年生で何を学ぶの?
- 卒業生インタビュー

千葉工業大学

理事長、学長、神田外大生も

第50回成田山詣行脚(体育会本部主催、会長・小暮賢人さん||建築都市環境学科4年)は5月14、15日に行われ、学生・教職員約330人が津田沼キャンパスから成田山新勝寺までの道のり約40kmを夜通し歩き通した。

精神力・体力の向上と無病息災を願い、親睦も兼ねて毎年行っている行事。今年は記念の第50回とあって、学生に加え瀬戸熊修理理事長、小宮一仁学長と教職員、神田外大の学生・教職員も参加し、14日の午後6時半に津田沼キャンパスをスタートした。

途中2度の休憩をとって歩き続け、12時間半後の翌朝7時に全員が成田山新勝寺に無事に到着。長く苦しい道のりを歩き抜いた学生たちは、ゴールで見守る教職員や同窓会成田支部の人々の姿に、安堵の表情を浮かべた。どの顔もすがすがしく、達成感に満ちていた。



最後の力を振り絞り階段を駆け上がる



締めくくりのあいさつをする小暮会長



学生たちをねぎらう瀬戸熊理事長

「一睡もしていない体にはまぶしすぎる太陽が目を刺し、成田山新勝寺をめざして歩き続けます。津田沼校舎を出発してから約12時間後の15日午前6時30分ごろに成田山新勝寺に到着しました。階段を上りきると、先に行っていた理事長や学長、同窓会長らさまがみな人々に迎えられるました。大きな事故もなく無事に全員が成田山新勝寺に到着でき、参加学生たちと達成感を分かち合うとともに、運営仲間へ感謝の気持ちでいっぱいです。

開会式から文句なしの晴天で絶好の行脚日和。第50回記念でもあり、昨年の反省などを生かして、何カ月も前から準備してきました。開会式では理事長のお話、校歌斉唱、応援団のエンールの言葉が胸に響き、行脚をやり遂げよう!と決意が高まりました。

成田山新勝寺に向け、

330人が徹夜で40キロ

NEWS CIT

2016
6.15

ニュースシーアイティ

千葉工業大学・入試広報部
〒275-0016 千葉県習志野市津田沼 2丁目17番1号
TEL 047(478)0222 FAX 047(478)3344
<http://www.it-chiba.ac.jp/>
毎月1回(8月を除く)15日発行

ニュースガイド

2面 西村さん笹川助成対象に/黒澤研究員に最優秀研究者賞/29年度入試説明会、古田所長と荒井上席研究員が講演/「メテオ」来月にも観測開始

3面 香取市とも連携協定/長尾研が御宿観光を支援/小宮学長が関東工教会長に/第21回文化の祭典

4面 28年度同窓会総会/茜浜サッカー場に人工芝完成

クールビス実施中

5月1日~9月30日

16カ国・地域30校に 海外大学との交流協定進む

本学と海外大学との交流協定締結が16カ国・地域30大学となった。3月14日付けでモンゴル工業技術大学と締結したほか、4月19日には小宮一仁学長がメキシコ・アクアスカリエンテス州政府を訪問しアクアスカリエンテス工科大学と、翌20日にはプエブラ州・テカマチャルコ市を訪問した。

シテカマチャルコ工科大学とも大学間交流協定を締結した。交換留学や学術交流が一層幅広く進むと期待されている。

津田沼校舎を出発。直後は空も明るく、友人との会話も近所の迷惑にならない程度に明るく弾んでいました。約4時間後に第一休憩所に到着。班同士で一休みを食べて親睦を深め、約1時間の休憩後に再び成田山新勝寺へ向けて歩き始めました。道中、日付をまたぐ時間となり、睡魔に襲われ、疲労も徐々に始まってきました。口数が少なくなり、かける言葉といえは「一緒に頑張ろう!!」と励まし合う会話が目立ってきました。

午前3時ごろ、第二休憩所に到着。安堵の表情が多く、学生に見られませんでした。1時間強の休憩時間が、とても短く感じ、疲労はピークに。第二休憩所を出発するとき、東の空がかすかに明るくなっていました。

西村さん笹川助成対象に

「ろう付け」最適化を追究する研究



交付式の会場で西村さん

機械サイエンス専攻・西村大さん(博士前期課程2年)が、小澤俊平研究室(室)が取り組んでいる「酸素活量の影響を考慮したCu-Ag合金融体の高精度表面張力測定」が平成28年度笹川科学研究助成の対象に採択された。日本財団の助成を受け研究

究助成を運営している日本科学協会が4月22日、東京・赤坂のANAインターコンチネンタルホテル東京で交付式を行い、西村さんに採択証書が手渡された。

研究は、金属材料を接合する「ろう付け」について、より詳しく解明し最適化を図るもの。ろう付けは、母材より融点が低いろう材(合金を溶かして接着剤とするが、溶けたろう材の表面張力が溶着の成否を握る。西村さんは、最も多用されるろう材である銅・銀の合金(ろう)を対象に、これまで説明がつか

なかった組成変化と表面張力挙動の関係を温度▽組成▽雰囲気—の3つを同時に考慮することで初めて明らかにしようと計画した。解明できれば、ろう付け製品の高品質化が期待できる。

採択研究は来年2月10日までに成果を求められ、助成額は100万円まで。

西村さんは応募の研究計画書を、読み手の興味

を引くよう作成。慣れない作業に苦戦したという。そのかいあって選考

委員会の審査をパスした。西村さんは「採択して

いただき、とてもうれしい。ご期待に沿えるよう全力で研究に打ち込んで

いこうと思います」と感想を語った。

する中で、近年学生の留年率が大幅に改善し、これに伴って退学率も全国の理工系大学の平均値を下回ってきたことを挙げて、「志願者数が増えている千葉工大」ばかりに目を向けるのではなく、「教育改革をしっかりと実行している千葉工大」を皆さまの脳裏にしっかりと刻んでいただきたい」と

と訴えた。

この後、熊本忠彦入学試験委員長が29年度のAO・推薦、センター利用、一般入試と受験料軽減措置などについて説明。

過去最高195校が参加

高校教員に29年度入試説明会

都や千葉近県を中心に、近年志願者数の伸び率が大きい北関東や東北、甲信越へと広がり、岡山から参加した教員も。本学の人気を全国的に広げていることを裏付ける形となった。

また日下部聡入試広報部長は28年度入試を総括

「先週末に引き続き、昨年度を上回る数の高校教員が入試委員と相対して熱心に説明を受けていた。

ている国家プロジェクト「先端ロボット技術によるユニバーサル未来社会の実現」でfuroが中心的な役割を果たしていることや、furoが開発した最先端ロボットなどを紹介し、「先生方が『この子は世の中を変えてくれそう』と思うような生徒を千葉工大に送り込んでほしい」と訴えた。

黒澤研究員に最優秀研究者賞

惑星科学会、天体重爆撃時代の物理・化学研究で



実験室で黒澤研究員

日本惑星科学会の2015年度最優秀研究者賞に本学惑星探査研究センター(PERC)の黒澤耕介研究員と横浜国立大学大学院工学研究院の発生川陽子准教授の2人が選ばれた。5月25日の同会

総会(幕張メッセ)で発表された。9月の惑星科学会(岡山市)で授与式と受賞記念講演が行われる。

黒澤研究員は東京都立大物理学科、東京大学大学院JAXA・宇宙科学研究所宇宙航空プロジェクト研究員などを経てPERCに。地球はなげ生命あふれる惑星なのかを明らかにしたいと、地球が激しい天体衝突を受けた時代の物理・化学過程を研究している。

クト研究員などを経てPERCに。地球はなげ生命あふれる惑星なのかを明らかにしたいと、地球が激しい天体衝突を受けた時代の物理・化学過程を研究している。

さらに原始地球の大气に炭素質物質が衝突するときのシアン化水素生成効率を、衝突実験とレーザー照射実験を組み合わせて推定。炭酸塩岩からの衝突脱ガス量を、自ら開発した開放系気相化学分析法でかつてない精度で計測するなど、天体重

爆撃が固体惑星の初期進化に与える影響の定量的評価の土台となる成果を挙げた。

一方で、理論的考察や計算機シミュレーションにより惑星科学の諸問題に幅広く挑戦。国内外の共同研究をリードしてきた点が高く評価された。

発生川准教授は、太陽系の有機物の起源と形成過程を研究。母天体で水質変成・熱変成過程により分子構造がどう変化するかを解明し、水質変成実験で、隕石に含まれる複雑高分子有機物と似た有機物を得ることに成功した。はやぶさなどが持ち帰る始原天体のサンプルの分析を支える研究者として期待されている。

荒井上席研究員は、2009年4月に開設したPERCがすでに国内の惑星探査研究機関では最大規模となり、地球の生命誕生の謎に迫る研究では世界的に見ても最先端を走っていると、PERC内で進められている独自の研究プロジェクトを紹介した。



④津田沼校舎で開かれた入試説明会
⑤講演する古田所長(右)と荒井上席研究員



古田所長の講演は「不可能を可能にするロボット技術」。2020年の東京五輪・パラリンピックに合わせ推進されることでも、高校教員の関心を高めたい。

古田所長の講演は「不可能を可能にするロボット技術」。2020年の東京五輪・パラリンピックに合わせ推進されることでも、高校教員の関心を高めたい。

来月にも観測開始

「メテオ」ISSの窓に設置される

本学惑星探査研究センター(PERC)が国際宇宙ステーション(ISS)で行う「メテオ」プ

ロケットの長期流星観測開始は7月となる見通しだ。プロジェクトリーダーの荒井朋子上席研究

員が29年度入試説明会で行った講演の中で明らかにした。

観測に使われる超高温液体が漏れているのを

度カメラは3月23日に打ち上げに成功。同26日にISSに搬入され、5月20日に所定の観測窓に設置。同21日には地上との通信も可能になったが、翌22日にISSに係留中のロシアの無人補給船「プログレス62P」から液体が漏れているのを

以降となる。

香取市とも連携協定

「地域社会との共生」が
 縮結した。千葉
 県内での同様の
 協定締結自治体
 は習志野市、浦
 安市、御宿町
 （以上201
 4年）、千葉市
 （今年4月）に
 続いて5番目。
 本学が取り組んできた
 「地域社会との共生」が
 さに前進した。
 香取市との協定調印式
 は同市庁舎で行われ、瀬
 戸熊修理長と宇井成一
 市長がそれぞれ署名した
 協定書を取り交わした。
 調印に先立ってあいさ
 つした宇井市長は「香取
 市にとって大学との包括
 的な連携協定の締結は初
 めてで、期待は大きい。
 先端技術に関する講座や
 実験などを通して、千葉
 工大の教職スタッフと当
 市の小中学生が交流し、
 また産官学が連携したま
 ちづくりや地域の人材育
 成を行うなど、幅広い取
 り組みを推進していきたい」と、本学に対する期
 待を表明した。
 これに心えて瀬戸熊理

理事長は「本学が擁する5
 学部17学科の知財をフル
 に活用して、香取市にご
 協力したい。中でも小中
 学生の理系教育で、机上
 論ではない本物の科学技
 術の成果を子どもたちが
 見たり、触ったりする機
 会をご提供できると思
 う。それが科学技術立国
 日本の将来を支える人材
 を一人でも増やすこと
 につながればありがたい」と
 語った。

「文化団練」に市民2500人

第21回 文化の祭典



表現する楽しさ—書道倶楽部



あいさつする足立 実行委員長

第21回文化の祭典（実
 行委員長・足立恭介さん
 情報ネットワーク学科
 4年）が5月29日（日）、
 津田沼キャンパスでぎ
 やかに開催された。
 今年度のキャッチコピ
 ーは「文化団練」。
 建学の精神「世界文化
 に技術で貢献する」でう
 たうように、文化と技術
 は人の営みの象徴—この
 祭典が家族・知人の団
 結で話題を呼び、文化や
 技術に親しみを持ってほ
 しいと願った。
 工学分野、文芸、音
 楽、アニメなど各サーク
 ルが、展示や演奏を展
 開、特設ステージで各種
 イベントを盛り上げ、訪
 れた市民約2500人と
 ともに祭典を楽しんだ。
 や、恒例のマンガ研究会
 人気が集まったのはス
 ポーツスタツ
 キングやキネ
 クト（体感型ゲームシス
 テム）など親子で楽しめ
 る「体験」型のイベント
 による似顔絵サービス、
 鉄道倶楽部のミニ電車乗
 車体験、陶芸研究会の作
 品販売などで、来場者た
 ちの行列ができた。
 一方、声優で俳優の平
 田宏明さんを招いて文化
 講演会を開催。平田さん
 はアニメ「宇宙兄弟」の
 主役・難波六太を務めて
 おり、自分の能力を發揮
 する仕事を見つけている
 は？ 仕事のやりがい、
 などについて経験を語っ
 た。また、宇宙兄弟を表
 紙にした本学の大学案内
 を手に、トークを盛り上
 げた。

この日、
 一番輝いた
 サークルを来場者が投票
 で決める「サークル総選
 挙」はV1位・精密ロボ
 ット工学研究会V2位・
 鉄道倶楽部V3位・茶道
 部—という結果になっ
 た。
 実行委員長の足立さん
 は「文化会の活性化を図
 る、よい機会になりました。
 21回目という新たな
 スタートに、委員長とし
 て参加できたことを感謝
 します」と語った。

御宿観光を支援

長尾研 5カ国語パンフや看板制作
 増え続けている訪日外
 国人観光客を成田空港か
 らもっと房総半島に呼び
 込もうと町を挙げて取り
 組んでいる夷隅郡御宿町
 に、デザイン科学科・長
 尾徹教授の研究室が協力
 して成果を挙げている。
 長尾研は昨年度、御宿
 町側の要請で日本語のほ
 か英語・中国語・韓国語
 ・スペイン語をそれぞれ
 使った5種類の観光案内
 パンフレットと、町内6
 カ所の観光看板、町入り
 口を飾る大型看板をデザ
 イン・制作した。



（上から）検討し合う長尾研のメンバー、御宿町入り口を飾る大型看板、制作した観光案内パンフレット

観光案内パンフレットは御宿の海と山、歴史、お寺と神社、四季のイベント、芸術・文化などを紹介したもので裏面は分かりやすいタウンマップになっている。大きさは新聞2分よりひと回り大きいA2版。日本語版と外国語版のデザインは皆同じで、町民と外国人観光客が日本語版とそれぞれの外国語版を照らし合わせながら意思疎通を図る。制作した。

同町ではこのほか新たな特産品として売り出しを図っているパッションフルーツや魚の粕漬け、ふるさと納税者に贈る米のラベルにも長尾研の学部生や大学院生のデザイン作品を活用している。本学と御宿町は一昨年6月、包括的連携協定を締結している。

小宮学長 関東工教の会長に就任



5月23日に開催された
 関東工学教育協会（関東
 工教理事会で、小宮一
 仁学長が会長に
 選ばれ、就任した。
 日本工学教育協会（日
 工教）は昭和27年、戦後
 復興に工業の再建発展が
 不可欠と連合軍総司令部
 （GHQ）の指導で、米
 国工学教育協会にならっ
 て設立された。関東工教
 はその地区工教として、
 イノベーションを引っ張
 る高度な人材の育成へ向
 け、優れた工学教育の実
 践者や著作を表彰するな
 ど活動している。
 小宮学長は同協会定時
 総会であいさつし「これ
 からの工学教育には従来
 以上に密な産官学の連携
 が不可欠だ。高校大学接
 続やグローバル化をも見
 据えて、教育機関と産業
 界はもろろん、文部科学
 省や経済産業省なども
 連携し、欧米に負けない
 工学教育システムの構築
 を目指したい」と述べた。



体育会本部による伝統の駄菓子屋



鉄道倶楽部のNゲージが人気



祭典を盛り上げるよさこいソーラン風神の演舞



研究成果を見学する小宮学長（左）



吹奏楽部による華やかな演奏

「実った施策」に拍手

28年度 同窓会総会開く

同窓会の平成28年度通常総会が5月28日、再開して一新した新習志野校舎で開かれた。集まった同窓生らは初めて見るキャンパスの姿に目をみみりしていた。

同窓会地方支部活性化の契機としたいと語り、特に若い会員に同窓会活動への参加を呼びかけた。総会はこの後、27年度事業・収支決算報告、28年度事業計画・収支予算を全会一致で承認。佐賀県、釧路、山梨県、鳥取県など10支部の支部長交代を承認した。



料理をとり思い出話に花を咲かせる



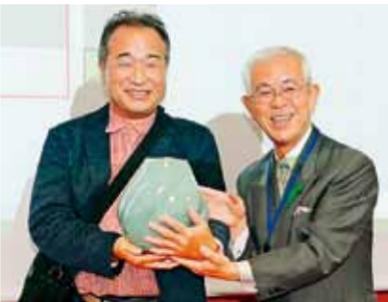
新習志野校舎で開かれた同窓会通常総会

長年支部長として地域支部の活性化に尽力された島根県の岩井省悟氏(46年精密卒)始め5人の退任支部長・事務局長に感謝状が贈られた。また、学生四会【文化会・学友会・体育会・寮友会】の代表が壇上で紹介され、同窓生たちから盛大な拍手がおこられた。



元応援団長の鈴木さんがエール

会長賞の青磁の壺を引き当てる長澤さん(左)。右は坂本会長



総会終了後、新食堂棟3階で開かれた懇親会では、瀬戸熊修理理事長が「私大の定員割れが叫ばれている中、本学はロボ

ットや惑星探査などのメディア露出によるブランディング戦略をはじめさまざまな施策が実り、この8年間、入学志願者数は右肩上がりとなっていきます。この勢いを維持して今後も頑張っていきたい。同窓生の皆さんにもご支援をお願いしたい」とあいさつ。会場から盛大な拍手が湧いていた。恒例の抽選会では、当選番号が読み上げられる

長・小宮学長・坂本同窓会会長と池永・堀内同窓会副会長により行われた後、宮川博光(52年工経卒)常務理事の乾杯で懇親会は和やかに進んだ。久々に再会した同窓生たちは、用意された料理を口に運び、グラス片手に思い出話に花を咲かせていた。

恒例の抽選会では、当選番号が読み上げられるたびに歓声が上がリ、会長賞の有田焼青磁の壺(梶原茂氏作・46年工経卒)は、静岡県から参加した長澤恵彦さん(53年金属卒)が引き当てた。閉会の前には元応援団長の鈴木海渡さん(平成28年生環卒)のエールに合わせ全員で校歌を斉唱。拍手喝采の中、同窓生たちは学生時代の思い出に浸っていた。

茜浜サッカー場 人工芝が完成

ジェフレディースにも貸し出し



人工芝に並んだサッカー部とジェフレディース。①親善試合で攻め上がる本学チーム

茜浜運動施設のサッカー場の人工芝敷設工事が完成し、5月28日、こけら落としのエキシビションとして本学体育会サッカー部とジェフユナイテッド市原・千葉レディース(略称「ジェフ」)が親善試合を行った。完成したサッカー場は縦155m、横75m、面積1万1500平方m。

コート(広さ)は105m×68mで、夜間照明を完備している。6月から体育の授業やサッカー部の練習などに使うほか、千葉レディースの練習場として貸し出されている。こけら落としでは、本学関係者のほか施工に当たった五洋建設、ジェフユナイテッド市原のスタッフ、本学とジェフの

仲介役に当たった千葉銀行などが、サッカー部とジェフユナイテッドの珍しい対戦を見守った。試合後、両チームの選手と出席者がコート場で記念撮影し、新しいサッカー場の誕生を祝った。

「どっちが勝つかサッカークラブ」

試合はハーフタイムなしの15分ハーフで行われ、最初こそ双方にやや戸惑いが見られたものの、時間が経つにつれて本気のぶつかり合いに。30分が終わってみれば、結果はドロー。両者ともすがすがしい汗を流した。

試合後、新習志野校舎の新食堂棟2階で行われた懇親会では、瀬戸熊修理理事長が「千葉県を代表するチームに新しいサッカー場を使っていただけでも、本学にとって非常に光栄なこと」と、歓迎の言葉を述べた。

「ジェフユナイテッド(株)の海真貴治取締役が「これからうちの選手と千葉工大サッカー部の選手と一緒に練習するなど、末永くお付き合いをお願いしたい」と応えて、エールを交換し合っていた。

「どっちが勝つかサッカークラブ」

同窓会

蕁風の候、8万2千名を擁する同窓会の通常総会が、再開された。新習志野校舎で開かれ、全国59支部をはじめとして、250名近くの会員が集いました。前半は運営方針を決めるための評議委員会、後半は議案審議の総会です。そして懇親会には新装の学生食堂を借用いたしました。

同窓会活動に参加するための若干の時間と費用は「コスト」ではなく、「投資」です。社会人として「種を播く」事であり、その果実は自分自身に戻って来るのであります。

編集だより

新年度が始まり、学生がキャンパスライフに慣れてきたかな?という頃。入試広報課ではすでに次年度募集のための準備が盛りだくさん! 入試試験期間の繁忙期とは違った緊張感で毎日過ごしている。

特にオープンキャンパス

四季雑感

いつもの散歩道はそのうち干干して分けつけ止めてもするかと思案する田んぼ道。草刈りがされ、折しも梅雨入りして優しい雨に青々としている。加えて、過日の全国的にゴミゼロ清掃が行われ、空き缶一つ落ちてない。何とも気分が良い。

教育センター